

行政報告

(令和 7 年第 3 回定例会【6月】提出)
安芸太田町

1 組織・体制について 【総務課】

3月定例会においてご承認いただいた役場の機構改革について、4月1日から実施いたしました。これにより本町の体制は、従来の10課局2室2支所から、10課局1チーム2室2支所体制に移行し、定員管理上の職員数は134人から133人になりました。この機構改革により、新総合ビジョンに掲げた取組を強力に進めるとともに、ピークを迎える重点プロジェクト(道の駅再整備・サイクリング事業推進)の取組を加速してまいります。

2 山林火災について【総務課危機管理室】

4月8日午前10時58分、松原で発生した林野火災では、発災から延べ数で消防団員190名、車両39台、消防署員152名、車両43台、岡山県防災ヘリも併せて3機のヘリが出動し、当日の夕方には概ね火勢も収まり、最終的には翌日午前11時21分に鎮火を確認いたしました。

今シーズンは国内でも多くの地域で山火事が多発し、かつ長期化しているところですが、本町においては速やかに鎮火いただき、焼失面積も3.6haに留めることができました。これは多くの皆様のご協力の賜物であり、またそのご協力には、直接消火に携わる以外にも、地元からは炊き出しのご支援をいただく他、民間事業者からは消火に有益な機材を貸与いただくなどもありました。

改めてご協力いただいた全ての皆様に感謝を申し上げますとともに、今後は、家庭ごみや事業所ごみを焼く行為に対する注意喚起に注力する必要があると考えております。

3 安芸太田町総合ビジョンと第3期総合戦略の策定について 【企画DX課】

3月28日に第三次安芸太田町長期総合計画「安芸太田町総合ビジョン」と第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。

審議会において1年間議論をいただき、町の将来像(基本方針)を「太田川とともに、暮らし、学び、未来に向けて一人一人が活躍するまち」とするとともに、その実現のために力を入れる3つの「重点方針」や継続して取り組む12の施策を定めていただきました。

今後8年間は、この「安芸太田町総合ビジョン」に基づき、町民が誇りを持てる持続可能なまちを目指して、計画的に各種の施策を進めてまいります。

4 税金等の morica 支払いについて 【企画DX課】

4月16日から地域通貨 morica で町県民税、固定資産税、上下水道料金、介護保険料などの税金、料金の支払いができるようになりました。5月末までの地域通貨 morica での税金、料金の支払い実績は、81件、3,025,411円となっています。

5 地域おこし協力隊活動報告会の開催について 【地域協働課】

4月12日に川・森・文化・交流センターで、地域おこし協力隊による活動報告を行いました。会場に併設したブースでは、試作中の祇園坊柿スイーツや自家焙煎珈琲の試飲・試食コーナーを設け、来場者にお楽しみいただきました。

当日は約50名の来場があり、協力隊員も報告に力が入り、時間オーバーしながらも参加者の皆さんとの対話を深め、大変有意義な会となりました。

6 もりみんハイツ入居状況について 【地域協働課・建設課】

4月から入居開始した「もりみんハイツ」は、全20戸のうち14戸、町外から17名、町内から15名が入居されました。2LDKの家族向けは残り1戸、1LDKの単身向けについては残り5戸が空いておりますが、引き続き移住希望者を中心に入居者を募ってまいります。

7 税務行政の推進について 【税務住民課】

令和6年分の確定申告を町内18会場で行い、1,373件の申告を受付けました。この申告に基づき令和7年度町県民税の賦課作業を行い、納税通知書を発送します。

また、軽自動車の登録に基づき軽自動車税納税通知書を、土地・家屋の評価、償却資産の算定に基づき固定資産税納税通知書をそれぞれ発送しました。

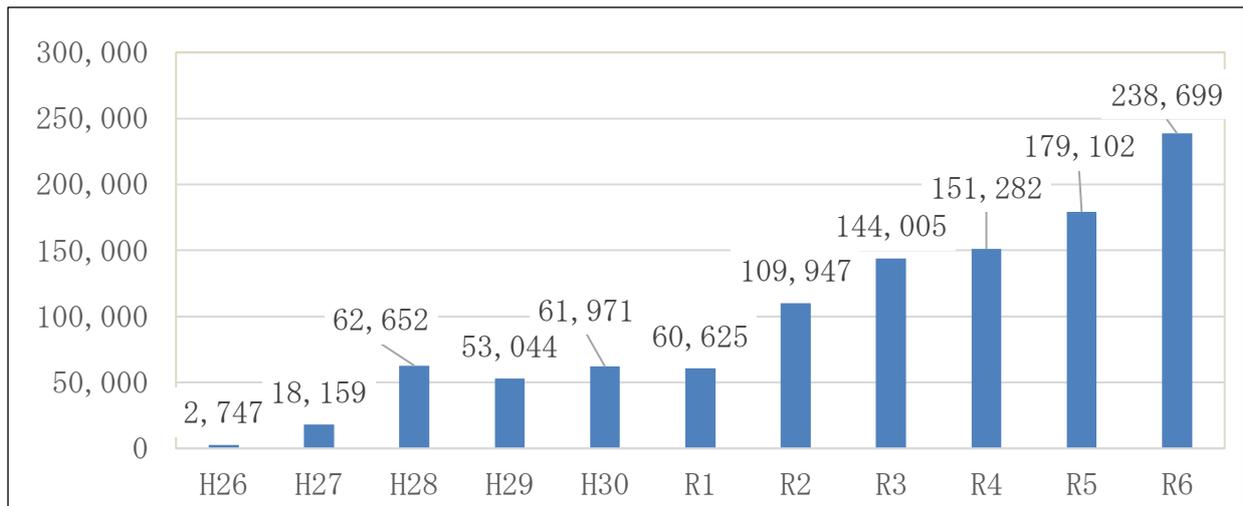
8 ふるさと納税の推進について 【税務住民課】

令和6年度の「ふるさと納税」が2億4,479万9千円となり過去最高を更新しました。

内訳は、「ふるさと応援寄附金」が1万7,539件の2億3,869万9千円、「企業版ふるさと納税」が7社から610万円のご支援・ご賛同をいただきました。

ふるさと応援寄附金の推移、人気返礼品の状況は次のグラフ・表のとおりです。

- ふるさと応援寄附金の推移 (単位：千円)



- 返礼品の上位10品目 (単位：千円)

No.	返礼品名	寄附金額
1	【三國屋】焼寿司海苔 優上 焼のり 50枚(10枚×5袋詰)	73,094
2	「よしおのたい焼き」(10個入り)	27,517
3	【三國屋】味のり旭(8切56枚) 6本セット	26,499
4	【三國屋】うみべのしおのり(10切80枚) 6本セット	11,984
5	「よしおのたい焼き」(20個入り)	10,501
6	ブレンドッドジャパニーズウイスキー戸河内4本セット	10,440
7	ブレンドッドジャパニーズウイスキー戸河内 PREMIUM 700ml	8,376
8	戸河内ウイスキー飲み比べセット(PREMIUM・PEATEDCASK)	6,600
9	【三國屋】焼寿司海苔 超特撰 焼のり 30枚(10枚×3袋詰)	5,304
10	【令和6年産】ヒノヒカリ 玄米5kg×2袋 計10kg	3,263

9 多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払制度について【産業観光課】

令和7年度から、多面的機能支払交付金は第3期、中山間地域等直接支払制度については第6期が始まります。これらの制度説明会を町内3か所で開催しました。

農業活動に限らず、中山間地域らしい景観の維持や有害鳥獣対策など農業の有する多面的機能が十分発揮されるよう、引き続き地域のサポートを行います。

10 鳥獣被害対策の推進について【産業観光課】

広島県が、イノシシやシカなどの野生鳥獣による農作物被害の低減をめざして始動させた鳥獣対策の専門組織「一般社団法人広島県鳥獣対策等地域支援機構（通称 tegos (テゴス)）」に、本町も本年度4月から参画しています。この機構は、参画市町と連携しながら県域で効果的な鳥獣被害対策に取り組む全国初の組織となります。

現在、派遣された職員が本庁産業観光課に常駐し、相談等に対応しています。テゴスと連携し、地域に根差した効果的な鳥獣被害対策を進めてまいります。

11 安芸太田町神楽振興について【産業観光課】

町内神楽団で構成する「安芸太田町神楽協議会」の令和7年度総会が5月14日に開催され、事業計画などが承認されました。

今年度は7月2日に大阪・関西万博会場で、12月6日には大阪府堺市大ホールで、それぞれ出張公演を予定しており、町内の神楽団が協力して、本町の神楽の魅力発信を進めます。

12 「^{セトウチ ベロ}Setouchi Vélo協議会」安芸太田町ミーティングの開催について【道の駅推進チーム】

サイクルツーリズムの推進に力を入れる中四国地方の地方公共団体など82団体で構成される「Setouchi Vélo 協議会」の主催により、6月2日に安芸太田町において、サイクリストの受け入れ意識の向上に向けた関係自治体ミーティングが開催されました。

当日は、中四国の自治体の関係者約40人が参加され、温井・猪山・平見谷地域をE-バイクで合同走行するとともに、サイクルツーリズムの成功事例に関する基調講演やパネルディスカッションなどを実施し、里山ならではのサイクルツーリズムについて議論を深めました。

13 加計スマートインターチェンジのフルインター化について【建設課】

4月10日に地域住民及び関係地権者へ向けてNEXCO西日本、広島県と合同で、説明会を開催し、道路構造及び今後の進め方についてご了解をいただきました。これを踏まえ、5月末より現地での用地測量作業に着手しています。

今後も、NEXCO西日本及び広島県と情報共有や課題確認を綿密に実施し、円滑な事業推進を図ってまいります。

14 広島市と水道事業に係る連携協定について【建設課】

広島市との水道事業に係る連携を更に強化するため、連携協定を令和7年3月26日に締結しました。

その協定を基に、今年度から、給水区域内の水質検査及び水質異常時の危機管理強化に資する業務を広島市に委託するとともに、フラワーフェスティバルにおいて、広島市水道局の出店ブースに参加し、安全でおいしい水道水や水源保全の取組についてPRを行いました。本町の水道事業の経営の安定化に繋がるよう、今後も更なる連携を図ってまいります。

15 令和6年度住民税非課税世帯等物価高騰対応重点支援給付金について【健康福祉課】

国から交付される物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を基に、令和6年12月13日の段階で住民税が非課税の世帯に対して、1世帯当たり3万円の給付金を支給しています。また、給付対象となる世帯に18歳以下の児童がいる世帯には、子ども一人あたり2万円の子ども加算を行っています。

現在の給付及び利用実績は、以下のとおりです。

区 分	内 容
給付額	住民税非課税世帯：915世帯（1世帯3万円） 子ども加算：31世帯・51人（1人あたり2万円） ※町地域通貨「morica」へ期間限定ポイントを付与
給付額（実績）	28,470,000円
利用実績	16,480,859円（利用率：59.56%）※令和7年3月末現在
利用期間	令和7年2月13日～令和7年8月31日

16 安芸太田町社会福祉施設食材費等高騰対策支援金支給事業の実施について

【健康福祉課】

物価が高騰する中であっても、利用者に価格転嫁することなく食事の提供を伴う町内の介護や障がい福祉サービス事業者に対して、負担を軽減し、安定した事業運営が維持できるよう、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」及び県補助金を活用し、町内の5法人（18事業所）に総額4,469,000円を事業支援金として支給しました。

17 安芸太田町病院事業あり方検討委員会について【健康福祉課】

人口減少下においても、本町において必要な医療を提供し続けられるよう、将来における過疎地域の医療のあるべき姿を議論する、安芸太田町病院事業あり方検討委員会の初会合を5月29日に開催しました。

会合では、本委員会の目的や検討項目、今後の進め方について確認するとともに、安芸太田病院事業の現状や公立病院としての役割などについて説明を行い、情報共有を行ったところです。

次回（第2回）は7月の開催を予定しており、協議内容等については、今後、HP等に随時掲載していくこととしております。

18 小・中学校、保育所・こども園の教育・保育活動について【教育課】

令和7年度の小・中学校、保育所・認定こども園の児童・生徒・在園児状況は次のとおりです。
(令和7年5月1日現在)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計(人)
加計小学校	13	17	20	16	17	19	102
筒賀小学校	2	7	6	6	7	11	39
戸河内小学校	9	7	6	10	10	9	51
合計	24	31	32	32	34	39	192

	1年生	2年生	3年生	合計(人)
加計中学校	14	15	17	46
安芸太田中学校	14	16	17	47
合計	28	31	34	93

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計(人)
認定こども園とごうち	1	2	8	9	8	5	33
加計認定こども園あさひ	0	6	1	3	4	8	22
筒賀保育所	0	0	1	2	2	2	7
修道保育所	0	2	0	0	0	2	4
合計	1	11	10	13	13	17	66

各小中学校では、今年度も学校運営協議会を中心に、地域とつながる学校づくりをめざしてまいります。

こども園、保育所においては、本町独自の「森のようちえん」を模索するため、地域の自然を生かした遊び（園外保育）を開始しています。また、5月14日から16日には「森のようちえん」の先進地である長野県「野あそび保育みつけ」に保育関係者で視察研修を行いました。

19 加計高校支援について【教育課】

本年度の加計高校の新入生は40人、総生徒数は110人となりました。新入生のうち本町中学校から17人、県内が14人、県外からの入学生徒が9人となっています。

引き続き「生徒寮、公営塾、クラブ活動支援、教育支援等」を推進し、全国の中学生から選ばれる高校をめざし、魅力向上のための取組を支援してまいります。

(令和7年5月1日現在)

区分	1年生	2年生	3年生	合計(人)
加計高校生徒数	40	37	33	110
うち寮生	21	14	16	51

20 学校・園・所支援ボランティアの募集開始について【教育課】

本町の小学校、中学校、認定こども園、保育所の教育、保育活動について、地域の教育力を生かすため、保護者や地域の方々にボランティアとして学校、園、所を支援いただく制度を改めて整理いたしました。

募集要項等は町の公式サイトに掲載しておりますが、今後は学校運営協議会や各協力団体等に協力を要請するなど、多くの方にご参加いただけるよう取り組みます。

21 令和7年度全国高等学校体育大会登山大会における自衛隊との調印式について

【教育課】

本年8月5日～9日に本町で実施が予定されている全国高等学校体育大会登山大会について、安全かつ円滑な運営を行うため、5月15日に陸上自衛隊第46普通科連隊と協力に関する協定書の調印式を県庁で行いました。

22 安芸太田病院の医療提供体制等について【病院事業】

令和7年4月に安芸太田病院では整形外科医師1名と内科医師4名の交代がありました。常勤医師は10名（1名産休中）で、1名が育休明けの時短勤務を始め、産休中の医師も育休なしで職場復帰する意向ですので、予定どおりであれば、昨年より1名増の体制で運営する予定です。

また、新たに看護部のトップとして広島市立北部医療センター安佐市民病院から副院长を迎え、医療を受けるみなさまの心身の安定に繋がる環境を整えてまいります。